

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成23年2月3日 (2011.2.3)

【公開番号】特開2008-149718(P2008-149718A)
 【公開日】平成20年7月3日 (2008.7.3)
 【年通号数】公開・登録公報2008-026
 【出願番号】特願2007-321990(P2007-321990)
 【国際特許分類】

B 2 9 C 49/66 (2006.01)

B 2 9 L 22/00 (2006.01)

【F I】

B 2 9 C 49/66

B 2 9 L 22:00

【手続補正書】
 【提出日】平成22年12月10日 (2010.12.10)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

パリソンがブロー成形型内でびんへとブロー成形されるブローステーションを有する I . S . マシンであって、

オンブローモールド位置に配置可能な腕部を有し、前記腕部が、前記パリソンのブロー成形の間、加圧された空気を供給されるブローヘッドを有する、ブローヘッド機構と、

前記ブローヘッド内の、供給される前記空気の圧力を検出する手段と、

前記ブローヘッドを、前記オンブローモールド位置から、前記ブローヘッドが前記ブロー成形型の上方へ離間される位置へと、上向きに移動させる手段と、

前記ブローヘッドで検出された前記空気の圧力の関数として、選択された圧力特性に従って前記移動させる手段を操作する手段と、
 を備えた I . S . マシン。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の、パリソンがブロー成形型内でびんへとブロー成形されるブローステーションを有する I . S . マシンであって、

前記選択された圧力特性が、前記ブローヘッド内の一定の圧力であり、前記移動手段が、前記ブロー成形型内に一定の圧力を維持するように前記ブローヘッドを移動させる、I . S . マシン。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の、パリソンがブロー成形型内でびんへとブロー成形されるブローステーションを有する I . S . マシンであって、

前記選択された圧力特性が、上昇する圧力特性であり、前記ブローヘッド内の前記圧力が冷却時間とともに上昇する、I . S . マシン。

【請求項 4】

請求項 1 に記載の、パリソンがブロー成形型内でびんへとブロー成形されるブローステーションを有する I . S . マシンであって、

前記腕部は、びんの内部圧力を経時的に所定の圧力特性で維持するために、前記圧力特性によって画定される前記空気の圧力に応じて前記ブローヘッドが前記ブロー成形型から

離間された位置に移動される、I . S . マシン。

【請求項 5】

ブロー成形型と、腕部および加圧された空気が供給される少なくとも一つのブローヘッドとを含むブローヘッド機構とを備える I . S . マシン内で、パリソンをびんへと成形する方法であって、

前記ブローヘッドを前記ブロー成形型へ移動させるステップと、

パリソンをびんへとブロー成形するステップと、

前記ブロー成形型から、前記ブローヘッドが前記ブロー成形型の上方に離間された位置へ、上方へ、前記ブローヘッドを移動させるステップと、

前記ブローヘッド内の圧力を検出するステップと、

前記ブローヘッド内の前記検出された空気の圧力の関数として、前記ブローヘッドを移動させるステップと、

を含む、方法。

【請求項 6】

請求項 5 に記載の方法であって、更に、

圧力特性を規定するステップと、

前記ブローヘッド内の前記検出された空気の圧力の関数として前記圧力特性にしたがって前記ブローヘッドを移動させるステップと、

を含む、方法。

【請求項 7】

請求項 5 に記載の方法であって、

前記ブローヘッドは前記ブロー成形型内で一定圧力を維持するために移動される、方法。

【請求項 8】

請求項 6 に記載の方法であって、

前記圧力特性は、上昇する圧力特性であり、前記ブローヘッド内の圧力は冷却時間とともに上昇する、方法。